

令和7年度 附属学校園での体験型教員研修要項

1 目的

附属学校の授業等、日常の教育活動を参観・体験するとともに、附属学校教員等との意見交換等を行うことにより小学校では主に各教科の指導力、特別支援学校では特別支援教育に関わる実践的指導力等の向上を図る。

2 対象

所属校校長の推薦を得た者、もしくは県・支部小学校教育研究会の長である校長が推薦し、所属校校長が認めた者、若干名

3 実施日時

令和7年度内で1日もしくは連続・不連続の2日～3日程度の研修とし、受講者と附属学校担当者で調整した後、双方の校長が決定する。

4 実施学校 岡山大学附属小学校、同中学校、同幼稚園、同特別支援学校

5 実施教科

【R7 附属特別支援学校】

- (1) 教科等別の指導: 国語、算数(数学)、音楽、体育、図工、自立活動等
- (2) 教科等を合わせた指導: 日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習等
- (3) 自立活動検討会、研究班会等

6 研修内容

次の内容のうち、事前打ち合わせで決定した内容について研修する。

- (1) 附属学校教員の授業参観を行う
- (2) 附属学校教員から授業解説を受ける
- (3) 附属学校教員と情報交換を行う
- (4) 附属学校教員とともに教材研究を行う
- (5) 附属学校教員とともに授業を行う
- (6) その他 必要と考えられる研修

7 申し込み

- (1) 所属校長から予め該当附属学校校長に連絡し、希望教科・受講者基本情報等を伝え、受け入れの可否について確認する。
- (2) 受け入れ可能の場合は別紙申込書により、校長より附属学校長宛に申し込む。
- (3) 申込書をもとに、附属学校担当者が受講者へ電話、メール等で連絡し当日の流れ等を打ち合わせ、研修計画書を作成・共有する。

8 その他

- ・本研修に係る参加費は不要。給食、材料費等が必要な場合は実費を徴収する。
- ・旅費について、附属学校は負担しない。
- ・体験型教員研修は、教職員支援機構(NITS)岡山大学センターとの共催事業である(必須記録研修)。研修後の省察(A4一枚程度)を提出後、参加者に修了証を授与する。